

## 平成21年度

### 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業の採択課題について

農林水産省では、平成20年度より、農林水産業・食品産業の発展や地域の活性化などの農林水産政策の推進及び現場における課題の解決を図るため、産学官連携による研究開発事業である「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」を実施しています。

本事業では、農林水産政策を推進する上での課題に対応するための「研究領域設定型研究」、現場の発想に基づき地域の活性化に資する「現場提案型研究」及び年度途中の突発的な政策課題に対応した「緊急対応型調査研究」の3つの研究タイプを設定しています。

今般、「研究領域設定型研究」及び「現場提案型研究」について、産学官の共同研究グループから研究課題を公募したところ、全体で345課題の応募があり、外部専門家等による審査を経て101課題を採択し、委託事業として実施します。

#### I 研究領域設定型研究（採択課題数：61課題）

農林水産政策上の重要性・緊急性が高く、試験研究の成果が農林水産業・食品産業の生産及びこれに関連する流通、加工等の現場の技術的課題の解決や政策立案に資するものとして、以下の6領域において61課題を採択し、研究開発を実施。

##### 1. 競争力強化のための生産システムの改善

農林水産業の構造改革と地域の活性化を図り、国際競争力を強化していくためには、より効率的で生産性の高い生産システムへの転換を図る必要があることから、IT等の先端技術も活用しつつ、地域条件に応じた農林水産物の大幅な低コスト化、高品質・高付加価値化や周年安定生産等を可能とする革新的な生産・流通技術の開発とその技術体系の確立を行うことを目的として、25課題を採択。

##### 2. 新たな可能性を引き出す新需要の創造

農林水産分野において、これまで開拓されてこなかった新たな需要の創造や、その事業化により地域の活性化を図るため、農林水産物の加工需要等の更なる用途拡大や、その事業化を通じて産地と民間企業が連携して取組む新しい産地づくりにつながる技術の開発を行うとともに、農林水産物や未利用バイオマスなどの地域資源を活用した新食品・新素材の開発や、これらの高度利用技術の開発を行うことを目的として、8課題を採択。

##### 3. 地域農林水産資源の再生と環境保全

農林水産業の健全な発展と地域の活性化を図っていくためには、地域における農林

水産資源の再生及びその持続的な利用と環境問題への的確な対応を進めていく必要があることから、地域における農業生産基盤施設の持続的な利用や森林資源を維持するための適正な管理技術、水産動植物の生育環境等の改善による適正な管理技術、有害鳥獣等による被害を防止する技術の開発を行うことを目的として、8課題を採択。

#### 4. 農林水産物・食品の輸出促進及び食品産業の国際競争力強化

我が国農林水産物・食品の輸出拡大のチャンスが増大している中、輸出相手国の嗜好や防疫制度への適合、長期輸送への対応等に技術的側面から輸出促進の後押しをすることが求められていることから、生産から加工・流通における病害虫等の防除、過酷な輸送環境下で品質が低下しない包装・輸送技術等を開発する必要。

また、我が国の食品産業については、原料、生産コストの低減下、食の安全性と信頼性確保、国際的な規格化競争などの課題を解決し、国際的な優位性の確保が求められていることから、食の品質管理の徹底と信頼性の確保、国際的な規格基準への対応のほか、新たな市場の創出につながる新規加工技術等を開発する必要。

これらの技術開発を行うことを目的として、7課題を採択。

#### 5. 食品の安全確保及び家畜の防疫対策の推進

食品の安全性を確保するため、リスク管理に資する科学データを比較・判断・予測して行政における規制・指導に活用するレギュラトリーサイエンスや、生産から加工・流通、消費に至るいわゆるフードチェーンを通じた危害要因による汚染防止・低減を可能とする技術を確立する必要。

また、家畜の伝染性疾病の侵入及び国内での発生・まん延を防止防止するため、防疫体制の強化及び国内外の家畜伝染病に関する情報の収集・解析等を行う必要。

これらの技術開発等を行うことを目的として、5課題を採択。

#### 6. 省エネルギー化、新エネルギー対策技術

エネルギー需給の逼迫等を背景とした原油価格の高騰は、農林水産業の経営に深刻な影響を与えたため、農林水産業への石油に代わる経済的な新エネルギーの着実な導入拡大を図ることが喫緊の課題となっていることから、施設園芸、漁船等の生産現場で速やかに普及しうる省エネルギー技術の開発、未利用エネルギーの有効活用など新エネルギーの利活用を低価格・低ランニングコストで導入可能な技術開発を行うことを目的として、8課題を採択。

## II 現場提案型研究（採択課題数：40課題）

地域活性化に資するものとして、地域の生産現場に由来する技術シーズの活用又は農商工連携・食農連携の促進・新需要の創出に向けた地域の取組み、その他地域ニーズへの対応を図るため、平成21年度において、40課題を採択し研究開発を実施。